募集チラシ　2026年6月9日改訂　第1.2版

40歳以上の男性の方 MASLD（脂肪肝）を合併した 男性更年期障害の臨床研究を行っています

男性ホルモン補充療法を用いた6ヶ月間の臨床研究を実施しています

裏面に研究の概要をまとめています

対象となる方

- 40歳以上の男性
- 男性更年期障害の症状*がある
- 脂肪肝**がある
- 生活習慣病***がある

*　だるさ、性欲の低下、筋力の低下、集中力の低下、眠れない、いらいら、発汗、ほてりなど
**　アルコール摂取量が多い方や脂肪肝以外の肝疾患（ウイルス性肝炎など）の方は対象となりません
*** 血圧、血糖、脂質の異常もしくは治療中、BMI 23kg/m^{2}以上もしくは腹囲 94cm以上の場合
その他にご参加いただけるかどうか確認する事項がございます。**まずは下記お問い合わせ先にご相談ください。**

研究について

*研究期間に前後2ヶ月間の経過観察期間があります

- 男性ホルモン（テストステロン）を6ヶ月間*補充し、脂肪肝への影響を評価します
- 男性ホルモンは月1回の注射（エナルモンデポー）と軟膏（グローミン）を併用します
- 血液検査、MRI検査、筋肉量や筋力の測定、各種質問票への回答などがあります
- 泌尿器科医師とも連携し、副作用の出現がないか慎重に経過を見ながら行います

重要事項

- 本研究への参加は自由意思であり、途中で中止することも可能です
- 筑波大学附属病院臨床研究審査委員会の承認を受けて、医師の管理下で実施します

費用について

本研究は保険診療として実施する内容と研究費で実施する内容があります

保険診療（自己負担あり）

- 研究参加前の適格性判断のための検査や受診費用
- 研究期間中の受診に係る費用、注射費用、一部血液検査費用

研究費（自己負担なし）

- MRI検査、一部血液検査費用
- 泌尿器科医師による前立腺評価
- 軟膏*の費用（2-3本/月をお渡し）

お問い合わせ ご相談

まずはお気軽にお問い合わせください
電話もしくはGoogleフォームでご連絡ください
研究担当者が折り返しご連絡いたします

Google フォーム
https://forms.gle/ZZsXUyqHope6cE7UA

筑波大学附属病院　内分泌代謝・糖尿病内科
研究責任者：松田　高明
029-853-3053

加齢男性性腺機能低下とは？

- 男性ホルモン（テストステロン）は主に精巣で作られるホルモンです。
- 加齢に伴って男性ホルモンが低下した状態を加齢男性性腺機能低下と言います。

テストステロンが低下すると？

身体症状

- 発汗、ほてり、疲労感
- 筋肉量と筋力の低下
- メタボリックシンドローム
- 骨粗鬆症

精神症状

- 抑うつ症状
- 認知症
- 睡眠障害

性機能症状

- 性欲の低下
- 勃起障害

研究では何を明らかにするのか？

- 男性ホルモンが低下した加齢男性性腺機能低下と脂肪肝がある方において、男性ホルモンの補充が脂肪肝を改善させるかどうかを評価します。
- 身体症状、精神症状、性機能症状が改善するかどうかも評価します。

研究の流れは？

ご不明な点などございましたら遠慮無くお問い合わせください

- 筑波大学附属病院に受診していただき、研究にご参加いただけるかどうかを確認します。
- 研究の参加条件を満たさない場合は、ご参加いただけません。
- ご参加いただける場合には、24週間は4週間に1回（計6回）受診していただき、男性ホルモンの注射を行います。次の注射までの2週間は男性ホルモンの軟膏を併用します。
- お薬の投与が終わってから8週間後に体調の変化がないことを確認し、終了となります。
- 糖尿病や高血圧、脂質異常症などの通常診療は当院で行うことができます。

